紺碧

調布稲門会
会　報

調布稲門会第十二回総会は平成五年六月五日（土）午後六時より市民福祉会館小ホールで行われた。会は大学人間科学部浅井邦二教授、校友会石黒代表幹事初め多くの来賓のご出席を得て総勢九十名が参加した。

総会は関幹事の司会で、元木副会長の開会の辞、林貞夫会長の挨拶に続き、浅井教授は、今年第一回卒業生を出した人間科学部の現況や大学が進めている全体の諸計画、例えば土地信託方式によるホテル建設（平成六年竣工予定）、老朽化した諸学部の建替、旧図書館、津田左右吉記念館など今後十年間の建設計画について説明され、石黒代表幹事は校友会と大学との新しい協力態勢について、例えば毎年一億円を業務委託費として大学に提供し、大学はこれを奨学金に充てるなど現在協議中である旨、又Wカード利用者も四萬弐千名を越え尚増えつゝある状況について話された。次に調布三田会の黒田会長は創立八年を迎えて稲門会との懇親の輪が益々広がっていることを強調された。又昨年発足した中央大学学員会調布支部の市川支部長の祝辞及び近隣稲門会を代表して多摩の高取会長、吉尾調布市長のご挨拶があった。続いて富沢副会長の会務並びに会計報告の後、途中来場の石川要三代議士の祝辞で第一部総会の議事は終了した。

第二部の懇親会は細川幹事の司会で昭島稲門会内田会長の乾杯の音頭で始まった。例年どおり初参加者の自己紹介と各同好会報告の後、今回は趣向を変えてビンゴゲームを楽しんだ。堀幹事の軽妙なやりとりで来賓、会員全員が和気藹々の内に空くじ無しの賞品が当たるという次第。最後は慶應、中央、早稲田の校歌應援歌の斉唱で閉会した。（富沢記）

参加者（来賓）人間科学部浅井邦二教授、秘書課岡本宏一氏、校友会石黒代表幹事、調布三田会黒田会長、小津名誉会長、竹下前会長他二名、中央大学学員会市川支部長他三名、石川要三衆議院議員、吉尾調布市長、（他市稲門会）立川、国立、小金井、三鷹、府中、多摩、武蔵野、稲城、昭島、保谷、小平、青梅の代表十六名（会員）青木一彦、秋沢淳雄、網本博行、石沢文夫、稲田睦、岩崎勝馬、上田尚武、海老名宏、大谷暁、大谷津博、岡田文男、笠原昌夫、金津彰一、川島義幸、木村栄三郎、栗田裕巨、河野治郎、紺野英夫、嵯峨彰彦、佐藤英夫、澤井健隆、芝崎光男、柴田春夫、嶋田太郎、白川準一、関川平吉、関信明、関守雅、田代和夫、津田弘敦、手島康隆、遠山俊二郎、富沢慎哉、富永昌夫、内藤重勝、中園純隆、中野完二、中村俊一、濁川寿次、濁川義治、西脇潤、根津稔、野口邦子、芳賀治、芳賀孝、早川政夫、林貞夫、土方貢、福田照明、福富達、船尾和三、細川一二、堀龍之介、本多和行、舞木孝治、室中道雄、元木勇、諸岡不二男、山沢輝久、吉田定次。

早大進学の誘因

S　一法　津田　弘敦

私が早稲田大学の存在を意識したのは、国民学校二年生の冬休みです。母の実家で、叔父落合吉人に会いました。彼は早稲田を卒業し大映の新進監督でした。田舎の法事でやたら人の出入りが多く、応対に疲れた叔父は、離れで横になり微醺を漂わせながら「都の西北」を口ずさんでいました。私に「将来大学を選ぶなら早稲田にしろよ」と勧めたのが記憶に残っています。太平洋戦でアンボンの海に、水漬く屍となりましたが、残存する資料の中に、昭和十九年一月二十日付、早稲田大学演劇博物館長河竹繁俊教授より、優秀映画資料展に落合吉人演出、「風雪の春。」のスチル、台本、諸記録ポスター等の出展依頼状があります。当時としては、ぜいたくなキャストでプロブラムには、美鳩まり、宇佐美淳、加賀邦男、本郷秀男、若原雅夫の名が並んでいます。後日小津安次郎監督が東京物語を尾道で撮った帰途、落合家を訪ね「戦争は惨い。」と叔父の死を悼まれたそうです。戦後は、「六三三制野球ばかりが上手になり。」の頃で、私も熱中し、甲子園や神宮を夢見たものです。中学のチームは結構強くて、現在悪役俳優で有名な八名投手(元東映投手)の中学と覇を競った頃の夏休みの一日、早稲田のあの末吉、宮原のバッテリーが校庭に現れたのです。岡山で宮原さんは「実あん。」と呼ばれ野球少年の憧れの的でした。持ち合わせの紙にサインをしていただいた感激は今も忘れていません。日本鋼管「現NKK」時代の宮原さんに新橋裏の岡山県人の集まるバーで、二三度お目にかかりましたが、今は現世の人ではありません。私は早大入学直後、腹膜炎を患い野球を断念しましたが早慶戦を観る度に、あの夏の中学のグランドを思い出すのです。高校時代、国語のK先生（早大卒）に早稲田大学進学を勧められました。先生の通称は「ターラン」。その由来は授業の終了時、「都の西北」を唱われるのですが最後のワセダのリフレインがいつも一つ抜けるのです。それでワセダが不足している。タリナイ。ターランとなったのです。学習塾の無い時代に自らガリ版でプリントを作成し添削し早稲田を勧めるのです。「花は盛りに、月は隈無きをのみ見るものかわ。」徒然草の一文がズバリ出題されていたのです。私が早稲田大学で学び青春を過せたのはK先生のご指導に依るものです。

福祉の早慶戦

会長　林　貞夫

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年もよろしくお願い致します。

昨年十二月五日、恒例の第十六回福祉まつりが調布駅南口広場で開催され、三田会と合同で参加した。四回目の参加だが過去三回の成績は、一回目は殆ど互角で引分け、二回目、三回目は三田会の勝利だった。合同

参加といっても会計は別で互いに収益金を競うようになり、毎年選挙戦のように文書や電話の依頼、マイカーを使っての個別訪問など活発な集荷作業が展開される。雪辱を期す稲門会は、エース濁川君が孤軍奮闘するが打線が振わず、前半リードを許し苦戦、林監督が懸命の巻返しを図り会社の車で幹事宅を訪問する。対する三田会は三連勝を狙い、エースの大嶋さんが家事を犠牲にして連日会員宅を飛廻り、前年を上廻る物品を集めた。加えて女性軍の援護とチームワークの良さで圧倒され残念乍ら三連勝をきった。

福祉まつりは二十年前、調布市赤十字奉仕団、調布リトルリーグ、社会福祉協議会など数団体が独自に行なっていた年末チャリティーバザーが統一されたもので、参加団体も年々増加し四十九となった。また新たに中央大学、明治大学の校友会も参加して四大学となった。十代のリトルリーグの選手から老人クラブのお年寄まで市内の各種団体の参加するこの催しの中で、毎年行なわれる福祉早慶戦必勝のため今年は是非参加して下さい。

三田会との交流を通じて感じることは、女性会員の差と、毎月定例化した幹事会、各種同好会など集まる機会が、稲門会に較べて圧倒的に多いことである。これが親睦を深め、団結を強くしているものと思う。

今年の新年会は一月二十一日調布クレストンホテルで、総会は六月四日、グリーンホールで行ないます。是非出席し、ご意見をお聞かせ下さい。

会員各位のご健勝、ご多幸をお祈り致します。

太極拳同好会十周年

中野　完二

調布稲門会の同好会の一つである太極拳同好会は毎週一回の稽古を積み重ねて、今年一九九四年には満十周年を迎える。

二月二十七日（日）に、楊名時太極拳の会長・師家、楊名時先生をお迎えして、記念の大会を開くことになっている。

太極拳同好会が始まるようになったきっかけは、調布稲門会の幹事会の折に、私が太極拳を披露したことだったのではなかったろうか。同席していた建築家の大隅常生先輩が「これは健康によさそうだ。ぜひ教えていただきたい」としきりに言われる。

私が太極拳を始めたのは、昭和四十六年に、文化出版局から楊名時先生の『太極拳』（現在の『新装版太極拳』）を出すに際し、その本の編集上の都合からである。それ以来続けているから、もう大分年数も経つのだが、編集者という、不規則でストレスの多い仕事でも、何とか健康を保ってきたのは、太極拳のお蔭だ。

自分がよかったことを人様にもおすすめしたい、と指導・普及のお手伝いをするようにもなっていたから、機会があれば、住まいしている地元でも、とは考えていたが、なかなか時間がとれそうもない。

それでも、再三、大隅先輩に言われて、八回の講習会をやってみましょう、ということになった。

礒田要幹事が、メンバー集めや会場探しに奔走してくれた。（以来、礒田さんは今だに面倒な世話役を献身的にやってくださっていて、感謝にたえない。）

会場は、国領のくすのき団地内にあるくすのき幼稚園。日曜日の午前十時から十一時まで、と決まった。幼稚園をお借りするについては、吉尾勝征現市長のお力添えもいただいた。

初日、十数名の方々が、ご家族ともどもお見えになった。林貞夫会長もいらしてくださった。

八回の講習会では覚えられないから、続けて、と言われるとことわるわけにもいかない。

日曜日には、深大寺の自宅から自転車で国領まで通った。妻も会員となって、いっしょに通った。

竹林信行さんご夫妻、今はパリ在住の井田さんご夫妻など、夫婦での参加者も少なくなく、これは今日に続いている。親子もいる。稲門会の会員だけでなく、伝え聞いた地元の方も参加するようになり、次第に人数が増えていった。

ところが、都合で幼稚園を私どもだけ借りているわけにはいかなくなった。しばらくは、神代植物園の北にある自由広場で、大自然の気を味わいながらやっていたが、雨の日には休まざるをえない。そのうち、自由広場の一角に、調布市総合体育館が出来て、会場の悩みは解消した。

といっても、スポーツ大会が行われると、小体育室が使えなくなり、会議室が会場。三〇名ほどにふくれあがったので会議室では体がぶつかるほどになる。入会希望は多いが、待機していただくような事態にもなった。（稲門会の方はいつでも歓迎します。）

思い出はつきない。

熱心だった大隅さんも、堤さんも亡くなられ、内藤さんも体調を崩されて休会中で、淋しい限りであるが、地元の方々を含め、いい仲間と和気あいあいと毎週日曜日午前十時～十一時半、調布市総合体育館で、これからも続けていきたい。楊名時太極拳が目ざしているのは、「健康・友好・平和」である。（楊名時太極拳師範）

早慶うろうろ青春期

調布三田会　野本　瑠美

我が家は、十五坪の離れ家が、姉兄私三人の居室と書庫になっていましたが、その書庫で、いつも、八才年上の兄が、教授を囲んで研究会を開いていました。早大英文科の面々の溜り場だったのです。私は専ら、お茶を出したり食事を運んだりでしたが、熱のこもった討論を耳にはさみ、兄の本はあらかた読みつくしていましたので、末は、早大英文まっしぐらの青春でした。父は、無言。母は、東女と切に希望していましたけれど。

アジア綜合研究所櫻田倶楽部
秋山ビルディング株式会社
理事長　秋山　一
東京都港区虎ノ門二―三―二二
電話　〇三(三三五〇二)八〇二一番

堀紙管株式会社
〒182　東京都調布市下石原三―六二―一
電話調布(〇四二四)八七―一一五一(代)
FAX　〇四二四(87)一一五四

林建設株式会社
取締役社長　林　和男
取締役副社長　林　貞夫
東京都調布市小島町二―五六―三
電話　〇四二四(八六)一一一一(代)

不動産賃貸
中村コーポ株式会社
代表取締役　中村俊一
東京都調布市上石原一―一〇―一
電話　(〇四二四)82―二〇三三番

おさしみ・高級鮮魚・仕出し
魚金
五島晋作
東京都調布市小島町一―二八―一
電話　(〇四二四)82―三一四二番

損害保険のことならいつでもお気軽にご相談下さい
東京海上調布支社
支社長　岡田文男（51年政経）
調布駅北口駅前間橋ビル7階
〇四二四―八八―四三一一

東京電力株式会社調布支社
支社長　星　利樹
〒182　東京都調布市布田二―三―一
電話　〇四二四(88)六一一一

そんな私の世界に、慶大が割り込んで来たのは、願書を取りに行く段になってからでした。初等科（成城学園）以来机を並べていた男子生徒が、願書を取って来てあげるから一緒に慶応を受けようと誘ってくれたのです。

〝えっ！慶応？〟

私の中の慶応は、当時ひどい印象でおおわれていました。近所に、山田五十鈴の娘さんの嵯峨美智子嬢が住んでいて、まだデヴューする前でしたが、まるで白い蛾のような美少女でした。その彼女に群れたかっていたのが塾生だったのです。自分と全く異ったにおいを嗅ぎとっていた私にとって、慶応は全て×だったわけです。

ところが、ボクもボクもと名乗りをあげて来た学友に囲まれて、何となく、慶応受験となりました。ここでニヤリとほくそえんだのが父だったらしいのですが。受けてみたら何ともうれしい。二次試験は、作文。若さのゴウマンさの恐ろしいこと！一次が受かったら、二次ではぜったい落ちませんと宣言して、早大受験を振ってしまったのです。落ちても成城大にはもどれないと心配する家族の気持ちもよそに一本勝負となったわけです。妙なわがまゝで早大との別れ道になりました。内心は、兄の世界に打って出るのにおじけづいた逃げの一手でもあったのです。クリスマスの晩に姉が出産し、体調をこわして、赤んぼうは、私の隣室に入りせっせとめんどうを見る受験生でしたから、今よりは、のんびりした時代だったのでしょう。

さて、慶応に入学。びっくりしたのは、授業がもうはじまるというのに、女子学生が、廊下でウジウジしているので、どうしたことかと尋ねると、教室に男子がいて恥しくて入れないとのこと。びっくりしたのなんの。世間知らずの私は、女子高生の存在さえ、考えたことがなかったので、彼女達を引きつれて教室に入ったわけですが、それ以来、何ともおつきあいが、あんみつ、ケーキの梯子ばかりですっかりまいってしまって、日吉時代は、学校は失礼して、美術館ばかり一人で巡ることになりました。そんな私をよろこんで見ていてくれたのが父で、全くありがたいことでしたが、ここで、チラッと、早大に行っていたらこんなことにならなかったかな…などと思ったことでした。でも、三田に行ってからは、しっかり授業に出るようになり、良い友人もでき、第二の青春三田の山時代があって、めでたく卒業とあいなりました。何とも意志薄弱な身勝手な青春期ではありました。

ところで、結婚してみてまいってしまったのは、女性づきあい。男友達は亭主ばかり。やっぱり母の言に従って東女で修業しておけば良かったという思いしきりでしたが男女のバランスが取れてこそ、物事、話もスムーズにいくというもの。持って生まれた特質をいかしてやって行くこれこそ、早慶の関係にもなるのではないでしょうか。特質を認めあって、なごやかな交流が続くことを願っています。

同好会だより

「太極拳同好会」

早いもので、当同好会も発足以来十年になります。この間、中野完二師範の御指導のもと、発足来の参加者は全員準師範の称号を与えられる栄に浴し、太極拳がすっかり生活の一部となり切っています。この会の誇りは、十年間一度の休会もなく続いているということです。これは指導者の人徳は云うに及ばず、荒みがちな世の中にわずかに潤える時と仲間を求め、更に自分自身の健康をも慮った会員の熱意がそうさせているのでしょう。

現在の会員数は四十名。毎週日曜日調布市総合体育館にて十時～十一時半までが稽古の時間です。今は稲門会以外の参加者が多いのですが、是非とも稲門会メンバーに参加頂きたく一度稽古場を覗きに来て下さい。

竹林　信行（S37一商）

稲門テニス会

本会は昨年まではOB秋山一氏のご厚意により毎月第二土曜日の九時から十二時まで深大寺の桜田テニスクラブに於て例会を行ってまいりましたが、近頃は土曜日が休日のところが多くなりまして、第二土曜日を必ず使わせてもらうとゆうわけにはまいりませんで、その月の空いている土曜日をお願いして例会を行っています。

稲門会の会員だけでは会が成り立たなくなりましたので、調布三田会にも声をかけて合同のような形になっております。

テニスの少しでもできる方、又これから始めようとゆう方など多数の参加を希望しています。

幹事
根津　稔（つつじケ丘　〇四二四―八四―八六四七）
河野　瑠美（深大寺　〇四二四―八八―六七八一）

囲碁・将棋同好会

平成五年度実施の大会の成績は、次の通りでした。

一月大会（第十四回大会）
一月二十四日（日）実施
参加者　十四名
囲碁A級　囲碁B級
優勝　萩尾十段　関川二段
二位　野沢五段　藤山三級
三位　松永五段　岩田初段
将棋の部は今回参加者少なく中止となりました。

七月大会（第十五回大会）
七月二十五日（日）実施
参加者　二十二名
囲碁A級　囲碁B級　将棋
優勝萩尾十段　海老名初段　桜山三段
二位沢井七段　早川四級　芳賀二段
三位芳賀七段　田中二級
開催場所はいずれも菊野台福祉センターです。同所で毎月第四日曜日の午後一時から例会を行っております。新人の参加もお待ちしておりま

信頼を技術で創る
生研建設株式会社
取締役社長　笠原昌夫
本社　東京都新宿区下宮比町一番四号
電話　〇三―三二六七―八四一代

関東広告マッチ社
関信明
東京都調布市布田一―一〇―六
電話〇四二四―八二―二三番

深大寺そば　創業文久年間
御宴会・俳句会・御法事
元祖　嶋田屋
〒182東京都調布市深大寺元町五―十二―十
電話（〇四二四）82―三五七八
83―六六五五

米穀商
株式会社　山田屋本店
室長　秋沢淳雄
東京都調布市布田三―一―一
電話（〇四二四）82―四五八五

株式会社　シダコーポレーション
志太正次郎
東京都新宿区西新宿一―六―一住友ビル
電話（03）三三四三―六三三一番

カメラと撮影・カラープリント
リコピー・ソニー製品販売
本多和行　ホンダ写真店
調布市布田一―四〇―一
電話〇四二四(82)二一七八

土地・建物の賃貸管理
東京建興株式会社
代表取締役　土方貢
調布市国領町七―二―三
電話（〇四二四）83―三五一五

す。

又、去る十月三十一日、国立・日野稲門会主催の囲碁大会に調布稲門会囲碁部から五名が参加し、内藤重勝七段が美事A級優勝の栄に輝きました。

（芳賀　治記）

麻雀は〝若さ〟のスポーツ

麻雀同好会　前島廣司

十一月二十七日調布駅前のクラブに於て、総会が多数の出席のもとに開催された。　総会に先立ち、勝抜き組合せの四回戦方式により競技会開始。雀士諸氏は皆、見事に打ち合う歴戦の勇者揃いで、多少のエキサイトはしても大変和やかな雰囲気のうちに、時間の経つのも忘れて大いに楽しんだ。勝負は運と実力の差で、我らが大先輩の山澤さんが優勝。お齢は召しても実に若々しくゲームに興じられるお姿は、麻雀はまさしく、若さを保つスポーツであるとの証左と思う。

小生は初参加、楽しくもあり、頭のスポーツで気分もスッキリ、賞品も戴き、大変幸せな一日でした。

前島氏は初参加ですが楽しんでいたゞけたようです。多数の入会をお待ちしております。

94年度も2月、6月、11月の第四土曜日開催の予定です。宜しく。

（幹事　堀）

ゴルフ同好会

今年のゴルフ同好会は、十二月十六日に予定している都留カントリークラブでの三田会との合同コンペを含めると計四回のコンペを行うこととなりました。単独での開催が二十一回、三田会との合同開催が十二回と回を重ねるにつれ参加者の気心も知れ、成績発表なども和気藹々と楽しいものになっております。

九月八日の河口湖カントリークラブでのコンペでは、ゴルフ場に全員集合しながら、激しい雨足が一向におさまらず、やむなく、懇親会に切り変え、十一月二日（当日は快晴）に再戦を行うなどのハプニングもありました。

来年もゴルフを通じて楽しく友達の輪を広げられたらと思いますので、皆様の参加をお願いいたします。

（室中　道雄）

ソフトボール部

去る十一月七日、調布三田会様との間で関東村R―2において、早慶戦を開催させて頂いた。曇り空でやや寒い日だったが、小学生など家族連れも交えてわき合いあいと七回戦二試合を行なった。

第一試合・第二試合とも僅差で稲門会の勝利となったが、勝敗とは別に、今年も名プレー・珍プレーの続出で、親睦を深めることができた。

試合後はいつも通りグランドの芝の上でビールでの乾杯の予定だったが、やや寒空だったため互いの健闘を讃えあってすぐお開きとなった。解散後は早慶の有志で、焼鳥屋での二次会となった。

今年は、稲門会の参加者は九名だったが、年々減少の傾向ですので、経験者もそうでない方も、楽しい会ですのでお気軽に参加して頂けますようお願い致します。

最後に、林会長・濁川様等のお骨折り、また、三田会ソフトボール部の皆様に感謝申し上げます。

（本村佳久記）

カラオケ同好会

本年は幹事の身がってな事情からご期待に添えるような活動が出来なかったことを同好の皆様に深くお詫び申し上げます。来年は気分を一新し企画を練り同好会を充実したいと考えております。よろしく。

（S35一法　津田弘敦）

福祉バザーに参加

恒例の調布市福祉まつりが平成五年十二月五日（日）調布駅南口広場で行われ、当会としては、四回目のバザーに調布三田会と共に参加しました。今回は好天に恵まれ人出も多く売上の中から諸経費を除いた拾参萬七千六百七拾円を社会福祉協議会に寄附いたしました。

◎年会費について

年会費（参千円）の本年度分未納の方は左記銀行振込又は便宜の方法でご送金下さい。なお、総会出席者は不要です。

1　富士銀行調布支店
　　㊐口座番号　997965
2　第一勧業銀行調布支店
　　㊐口座番号　1158237
3　三和銀行調布支店
　　㊐口座番号　3571512

何れも名義　調布稲門会

◎過去一年間の動き

平成五年

1月　新春のつどい（四十名）（京王プラザホテル）
4月　幹事会（十五名）
4月　三多摩稲門連合会（林・元木・濁川）（東急イン）
5月　小金井稲門会春のつどい（元木）
5月　調布三田会総会（林・富沢・元木・土方・濁川）
6月　調布稲門会総会
6月　稲城稲門会（濁川）
7月　多摩稲門会（元木）
7月　三鷹稲門会（元木）
9月　幹事会（十三名）
10月　立川稲門会（林・元木・土方）
11月　全国校友代表者会（濁川）（早稲田大学）
11月　小金井稲門会（元木）
11月　府中校友会（林・元木）
12月　福祉バザー準備会（林・富沢・土方・濁川・船尾・野口）
12月　福祉バザー（林・富　沢・元木・土方・本多・川島・津田・手島・船尾・濁川義・濁川寿・野口）
12月　会報「紺碧」編集打合せ（富沢・土方・濁川）

この他各同好会がご報告のとおり活動しておりますので特に新入会員の方は各幹事にご連絡の上ご参加下さるようお願いいたします。

慶弔

林　和男相談役（平成五年一〇月一〇日）体育関係功労により文部大臣表彰。

栗原　茂氏（昭・三〇・一法）逝去。

発行責任者
林　貞夫　☎82―二二三二
編集委員
富沢慎哉　☎82―六三九一
土方　貢　☎83―三五一五
濁川義治　☎82―七三〇三
関　信明　☎82―二八二三
元木　勇　☎03―3300―四五五四